

ミネベアミツミのサステナビリティ

サステナビリティの考え方

経営の原点はサステナビリティにあり、サステナビリティの本質はダイバーシフィケーション(多様化)であると考えます。当社では、製品のみならず生産地、マーケット、技術開発などにおいて多角的な分散体制を構築し、磨かれ、それらが競争力の源泉となっています。このような事業活動の執行を包含する環境、社会、ガバナンスに関する取り組みの強化に対して、果敢に経営リソースを投入していく方針です。

理念体系—経営理念の浸透

当社グループは、企業の使命とは法令の遵守だけでなく、企業倫理に則した公正かつ、適切な事業運営を通じて、地球環境および人類の持続可能な発展に貢献することと考えています。この使命を果たすため、「『より良品を、より早く、より多く、より安く、より賢く』」つくることで社会に貢献する」という経営理念のもと、経営の基本方針である社是「五つの心得」と、これを基本とした「ミネベアミツミグループのCSR基本方針」および「ミネベアミツミグループのCSR実践に向けた活動方針」を策定し、取り組みを進めています。

経営理念

「より良品を、より早く、より多く、より安く、より賢く」つくることで社会に貢献する。

経営の基本方針 社是「五つの心得」

- 従業員が誇りを持てる会社でなければならない
- お客様の信頼を得なければならない
- 株主の皆様のご期待に応えなければならない
- 地域社会に歓迎されなければならない
- 国際社会の発展に貢献しなければならない

ミネベアミツミグループのCSR基本方針

ミネベアミツミグループは、社会を支える精密部品メーカーとして、「信頼性が高く、エネルギー消費の少ない製品を安定的に供給し、広く普及させる」ことを通じて、地球環境および人類の持続可能な発展に貢献します。

サステナビリティへの考え方と推進体制

2019年4月、当社グループとして持続可能な社会発展に貢献すること、監査業務と執行業務を分離し、ガバナンス体制を強化することを目的に、サステナビリティ推進部門を新設しました。



ミネベアミツミグループのCSR実践に向けた活動方針

1 「五つの心得」と「行動規範」

CSR活動の推進に当たっては、「五つの心得」を基本として、適切な組織統治のもと、ミネベアミツミグループ「行動規範」を遵守していきます。

2 製品を通じた社会価値の創造

社会を支える精密部品メーカーとして、「信頼性が高く、エネルギー消費を減らす製品」を積極的に開発し、広く普及させます。

3 継続的改善と意識向上

ミネベアミツミグループの社会的責任、取り組むべき重要課題を理解した上で達成すべき目標を掲げ、実行とレビューを繰り返して、CSR活動を継続的に改善していきます。また、こうした活動を通して、従業員一人一人のCSRについての意識向上を図っていきます。

4 ステークホルダーとの対話

ステークホルダー(従業員、お客様、株主の皆様、地域社会、国際社会、お取引先様、環境など)との積極的な対話を通して、その期待・要請に 대응するとともに、企業活動の透明性向上と説明責任を果たしていきます。



マテリアリティ(重要課題)への取り組み

グローバル企業としての社会的責任を果たすとともに、経営の持続可能性を高めるために2019年に特定したマテリアリティに達成目標を設定致しました。今後はPDCAサイクルを適切に回し、取り組みを進めてまいります。

重要テーマ1 すべての従業員が力を最大限発揮できる環境づくり

マテリアリティ	重要であると判断した理由	単年度目標	中期目標	主に貢献するSDGs
1 従業員の安全と健康	従業員の安全確保・生産性向上	労働災害の削減：労働災害件数0件 健康診断の受診推進：受診率100%	労働災害ゼロ件 従業員の健康の維持	3
2 働きやすい職場づくり	従業員のモチベーション・満足度の向上・生産性向上	多様な働き方を実現するための制度の検討・導入 長時間労働の削減：一人当たりの平均時間外労働時間5%削減	従業員が生き生きと働くための多様な働き方の実現	8
3 グローバル規模の人材育成	従業員の成長 グローバル企業としての人材確保	次世代幹部リーダーの育成の強化 海外ローカルリーダーの育成	ミネベアミツミグループとしての統合効果を生かし、グローバルでの事業の拡大、発展を積極的に推進するための人材開発強化	8
4 グローバル規模のダイバーシティの推進	従業員の確保 従業員の人権尊重、相合の推進	女性活躍の継続的促進 障がい者雇用の法定雇用率達成と雇用維持：雇用率2.2%以上	国籍・文化的背景・出身母体などを問わず人材が活躍できる環境を整備 女性管理職の割合の増加(2021年に2016年の2倍を目標とする)	5 10

重要テーマ2 社会の発展に貢献する新しい価値の創造

マテリアリティ	重要であると判断した理由	単年度目標	中期目標	主に貢献するSDGs
5 環境貢献型製品の創出	深刻化する環境問題解決への貢献 お客様からの環境性能向上の要請拡大	グリーンプロダクツの売上高比率を81%とする	グリーンプロダクツの売上高比率の向上(2029年3月期に90%以上)	7
6 地域社会との対話と発展への貢献	世界中の拠点における信頼獲得 地域発展による事業継続	経営統合に伴うグループでのサステナビリティ・マネジメント体制の整備・強化 マテリアリティに関して関連部門ごとに目標を設定 国内外の拠点における地域との対話促進を継続 メディアを通して、ステークホルダーが当社事業の理解を深めることができるように広報活動を実施 事業計画の進捗および施策に関する積極的な情報開示の継続的推進 国内外の投資家との積極的なコミュニケーションの継続的推進	ステークホルダーの期待・要請理解を通じたサステナビリティに関するマテリアリティ(重要課題)をベースとした、CSRマネジメントの推進 国内外の拠点におけるサステナビリティ浸透活動の継続的実施 情報開示とコミュニケーションの推進によって、ステークホルダーから一層の理解と信頼を獲得し、中長期的な企業価値の向上に寄与	1 4 6
7 社会課題を解決するソリューション創出	お客様からの社会課題解決の要請の拡大 技術の進展による生産性の向上	技術開発の検討プロセスにおける社会課題視点の取り込み	工場の省人化・自動化などの分野で重要な部品・技術の開発	8 9 10

重要テーマ3 社会を支える精密部品の安定供給

マテリアリティ	重要であると判断した理由	単年度目標	中期目標	主に貢献するSDGs
8 安全・安心な製品の供給	あらゆる製品に使われる部品メーカーとしての製品性能の向上と信頼性の確保	従業員のスキルアップのための仕組みづくり ミツミ製品への統一バーコードラベルの導入・展開 積載効率と品質の向上のための海上コンテナの梱包改善	グローバルでの事業の拡大、発展を支える、統一的な品質マネジメントシステムの構築・標準化 ミネベアグループ全体での統一バーコードラベルの導入・積載効率向上	9
9 責任ある調達への推進	サプライチェーン全体の継続性の確保 レピュテーションリスクの低減	ミツミ電機のマレーシア・タイ・フィリピンにおけるお取引先様に対して、「CSR調達推進自己チェックシート」によるCSR推進状況の確認	ユーシンにおけるCSR調達の現状確認と、「CSR調達ガイドライン」に基づくお取引先様のCSR推進状況確認と推進	12
10 リスクマネジメントの強化	企業を取り巻くリスクの事前把握による、危機発生時の回避と危機発生時の損失の極小化	随層別研修におけるコンプライアンス研修の実施：受講率100% 意識調査の結果も踏まえたeラーニングの実施：受講率90%以上 パワハラ研修の強化 グローバルでのコンプライアンス情報収集体制の強化 貿易コンプライアンスについての研修の強化 中国・上海工場での感染症に関するBCPの拡充とグループ主要拠点への展開 タイ・アユタヤ工場およびバンワ工場での、事業継続マネジメントシステムの国際標準であるISO22301の取得 エイブリックのリスクマネジメント体制の確認と連携	グローバルでの事業の拡大、発展を支える、グローバルコンプライアンス体制の構築・強化 グローバル企業として十分な貿易コンプライアンスの強化 経営統合で拡大するミネベアミツミグループの拠点におけるBCPの整備	13